

道徳授業指導案

指導者 西海師範
中嶋 恵

1. 主題 心を形に ～礼儀の心～

2. ねらい

1-(1) 望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。

2-(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

3. 主題設定の理由

中学生の時期は心身ともに著しい発達をみせる。そこで、心身の健康について考えたり望ましい生活習慣を身につけたりすることで、生徒自らの生活習慣を振り返り、今後の人生をより豊かにしていこうとする態度を養いたい。また、日常生活において時と場に応じた適切な言動を体験的に学習するとともに、形の根底に流れる意義を学ぶことで、礼儀・作法は相手を思いやる心の表れであることに気づく機会としたい。

4. 展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	備 考
導 入 5 分	○事前マナーアンケートの結果発表 ・はしや食器の持ち方や使い方に関する こと ○食事マナーの意義について ・礼儀作法の必要性、他者を思う心が 根底にあることなど ○講師の紹介 ○講師から一言	・アンケート結果から食事マナー の 意義にふれさせる。	・アンケート ト集計の紙
展 開 35 分	○和食の作法について ①はしの持ち方や使い方の講習 ②はしの持ち方や使い方の実践 ③食器の使い方の講習 ④食器の使い方の実践 ⑤コップの扱い方の講習 ⑥コップの扱い方の実践	・はしや器、コップを正しく使っ たり、持ったりすることの意味や その大切さについて気づかせる。	・おぼん ・はし ・器 ・コップ ・各テーブ ルに給食 セットを 人数分ず つ置く

終 末 10 分	○学習したことの感想、自分の考えを書く。 ・数人が感想を発表する。	○今日の授業を振り返り、授業の感想や考えを記入させる。	・感想用紙
-------------------	--------------------------------------	-----------------------------	-------

5. 評価

- ・はしや器、コップなどの正しい使い方を理解することができたか。
- ・食事マナーの大切さや意義を理解し、今後の生活に生かそうとする意欲が感じられたか。

6. 会場（多目的ホール）

- ・座る場所はいつもの給食の場所とする。教師の席は詰めて座る。
- ・講師の先生の紹介は東側の配膳台でする。

7 生徒の感想

・はしの持ち方や食器を置く位置など基本的なことを教えていただいた。特に印象的だったのは、器を持ってからはしを持つということだった。いつもははしを片手で持ってすぐに器を片手で持っていたので、これからは気を付けたいと思った。家では親が厳しくて色々なことを注意してくれているけれど、自分でも気を付けてできたらいいなと思った。いつも何気なく食事をしているけれど、細かいところまで気を使って、きれいに食事をとれたらいいなと思った。

・私は今まで食事のマナーのことはあまり考えたことがありませんでした。はしと器を同時にとりあげるのがダメなのだというのには、一番ビックリしました。はしの持ち方にもいろいろあって、音を出さない方法などがわかってとても良かったです。作った人のことを考えることはあまりしていなかったの、きちんと考えながらマナー通りに食べていきたいと思います。これからはもっと詳しく学びたいです。

・やっではいけないということは知っていたが、それがなぜなのかを今日はわかった気がする。これからはもう少し、作ってくれた人、片付けてくれている人、食事に関わっている多くの人のことを考えながら、食事をしたいと思う。自分もアンケートで当てはまったはしを器の上に置くという行為も、これからは気を付けて今よりもっと美しく食事をとれるように努力していこうと思っている。

心を形に ～礼儀の心～ アンケート結果

1 あなたは、はしをきちんと持つことができますか。
できる 10人 できない 0人

2 下の資料の中でしたことのあるものに○をつけなさい。

はしの先からつゆや汁をたらす	(涙箸)	9人
はしを器の上に渡しておく	(渡し箸)	7人
食べ物をつきさして口に運ぶ	(刺し箸)	6人
はしを使って器を手もとにひき寄せる	(寄せ箸)	4人
どれを食べようか、器の上ではしを迷わせる	(迷い箸)	3人
盛りつけをくずして、下から引き出す	(探り箸)	2人
はしと器を、同時にとりあげる	(諸起こし)	1人
人やものをはしで、指し示す	(指し箸)	0人
食べ物を器の中で押し固めて口に運ぶ	(押し付け箸)	0人
はしからはしへ食べ物を渡す	(拾い箸)	0人

3 あなたが、はしや食器を持ったり、使ったりするときに気を付けていることは何ですか。

- 挨拶をしてから食べる
- くちゃくちゃ食べない
- 茶碗をつねに持っている
- 特にない。親に教えられた通り行っているだけで、それが当たり前と思っている
- 食べながらしゃべらない
- 茶碗やはしをおとさないようにする
- ちゃんとして食べる